

関西防災・減災プラン案のポイント

1 全国初の本格的な広域にわたる防災・減災プラン

関西が一体となって災害対策を実施
関西で発生した災害への対応だけでなく関西以外の地域への応援も実施

2 「初動対応」、「応急対応」に加え、「復旧・復興」対策についても定めたプラン

災害対応の初動期から応急対応期、復旧・復興期に至る過程をシナリオ化
復旧・復興シナリオでは、関西復興戦略の策定などを規定

3 「受援」のあり方に踏み込んだプラン

「受援」だけでなく、全国からの被災地支援が円滑に実施されるよう受援体制や受援業務についても規定

4 初動期から復旧・復興期に至る過程をオペレーションマップで整理したプラン

初動期、応急対応期、復旧・復興期における広域連合や他の防災関係機関の災害対応業務を項目ごとに「オペレーションマップ」で整理

5 未曾有といわれた2つの大震災の教訓を盛り込んだプラン

被害が甚大なところからは情報が入らない。

- ・ 発災直後に、緊急派遣（先遣隊）チームを被災地に派遣。被災府県は被災市町村へ職員を派遣し情報収集及び支援を実施

避難所までなかなか必要な物資が届かない。

- ・ 宅配業者、倉庫業者との連携により、被災者に物資が迅速に届く仕組みづくり
- 行政機能が大幅低下した自治体が発生

- ・ 被災市町村に現地連絡所を設置し、通常の行政業務も含めて直接支援
- 行政だけでは災害対応に限界がある。

- ・ 災害時に大きな役割を果たすボランティアの活動を促進
- ・ 協定の締結などにより企業・団体と連携・協働

「カウンターパート方式」により被災府県・市町村を支援

その他、遠隔地域との協定、広域避難の調整、帰宅困難者支援 など